

れた。

教育フォーラム・文化祭

地域ぐるみで道徳教育を進め、心豊かな津野つ子を育成することを目的に津野町道徳教育推進地区協議会の主催で11月1日に教育フォーラムを開催。町内各小中学校の「道徳」の公開授業・こども園の発表・津野つ子標語の表彰式。シンポジウムでは「地域や家庭を巻き込んだ道徳教育が必要である」をテーマに延べ380名の参加。今後の津野町道徳教育への展望を協議。



津野町教育フォーラム (B & G 海洋センター)

学力向上対策

中学校の基礎学力の定着を目指し9月以降、月1回の指導日の午前中は中学校を中心に授業参観を実施している。

11月18・19日には文化庁の育成事業により、大阪交響楽団のオーケストラ公演が行われた。

中央小学校は、県下で特に優秀な学校に贈られる「坂本教育賞」を受賞し11月21日に授賞式が行われた。

傍聴記

12月8日に行われた定例会一般質問の傍聴をしました。

津野町に移住して3カ月が過ぎようとしていたころ、地域おこし協力隊の職務を全うするためには町民の意見や想い、行政の考えや活動を知らなければいけないと考え、休日と一般質問の日にちが合致したことで初めての議会傍聴をできました。

一般質問のなかに私が携わる事柄の一つである、奥四万十博についての質疑・答弁がありました。その質問の一部は私自身が伺いたいものと同じであったため、議員さんと一緒に参加する気持ちで傍聴席での私の体は前のめりになり、答弁された方々の一言一句を必死で聞き漏らさないように集中していました。過去の議会だよりで記述があるように、傍聴席26席に対して、この日は多い時

で私を含めて3人でした。移住して日が浅い住民としまして感じましたことを率直に申し上げます。

議会議員という役割は住民の意見・考えを統べて、行政へ伝えるものと考えております。

自治体組織というものは大小に関わらず、住民がいなくては成り立たない、その代表者たちで運営・維持・発展・継承していくものだと考えています。

行政に異を唱える、または相談・交渉などをしたいと考えている住民は議員にまかせつきりにせず、議会という公式の場に参加して議員が自分の想い・考えを代弁してくれているのと一緒に応援、または戦うという意思を示すことが大切だと感じました。

今回の一般質問は、全て傍聴すると9時半から16時頃までになりましたが、選挙で一票を投じた議員の質疑応答だけならば最長で80分で終了します。就業中であつたとしても、

休憩時間を設けてその時間だけ参加することはできません。

是非、自分の想い・考えを行政執行部に届けたいのであれば、町政に積極的に参加してください。

津野町が保有する宝を発展・継承していくのは住民一人ひとりの力が結集されなければ叶いません。

今後の津野町の発展を担う住民の一人として率直な考えを記述させていただきました。

津野町旧宮

大智豪悟



12月定例会・本庁議場